



株式会社ウエルクリエイト

地域の未利用有機資源をリサイクルすることにより、生産・消費・リサイクルを繰り返していく循環経済社会構築を目指した「地域食品資源循環ソリューション」を提供しています。

廃棄ゴミ / 廃棄コスト / 排出されるCO₂を削減し、食品残渣や未利用畜糞等を活用しながら化学肥料に代わる有機肥料を提供し、安心・安全な食品 / 地域の活性 / 付加価値循環農作物を増やしていきます。



株式会社B2S

(1) 基本サービスはJクレジット制度・計画書/報告書作成
(2) 2028年導入の「化石燃料賦課金」(GX推進法)対策として【調達するエネルギーや素材を脱化石燃料化】サポート。

【エネルギー】①CO₂排出量算定ができる人材育成 (ISO14064-1準拠のGHGインベントリ作成) ②中小企業版 SBT申請できる人材育成 ③ISO14064-3に基づくGHGインベントリの検証スキルアップ講習 (ISO14065に認定の企業と検討中)

【素材】生分解性プラスチック調達レポート作成受託。
①ISO14064-2準拠のGHG削減レポート (Scope 3 カテゴリー1) ②SDGコンパス準拠のSDG s ビジネスレポート



株式会社マルマエ

当社は、気候変動対策には、可能な限りカーボンをクレジットを活用せずに、自社で使用するエネルギーについて、自社で再生可能エネルギーを発電することで、能動的に他社から供給された電気を削減することが重要と考えています。そのため、2021年9月に当社のカーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギー発電設備の長期投資計画を策定し、取り組みを開始しました。

さらに、カーボンニュートラル実現に向けて、自社使用のエネルギー (Scope1,2) 削減だけでなく、自社事業活動に伴うGHG排出量 (Scope3) の削減が必要となります。Scope3削減に向けて、休日等の余剰再生可能エネルギーを活用しリサイクルを進め消耗品の購入量を削減することで、実質的なCO₂排出量を減少させる方針です。

当社が製造業のモデルケースとなり、社会全体に普及することで、社会全体のGHG排出量の削減に貢献することが重要と考えています。



松本工業株式会社

プレス工場の課題となっているスクラップ排出において、従来はスクラップ排出にエアブローや電動装置などを使っていましたが、当社製品のピクシーはプレス機の下動作を排出の動力に変換し、エネルギーゼロ、ゼロエミッションを実現した画期的製品です。

また、自動車部品の製造工程における鋼板の接合は、多くの電力使用とCO₂の排出が課題でした。

自社では独自の金型プレス技術で異なる金属同士を圧着させることにより、溶接しなくても部品の強度を確保できる技術を開発しました。これにより、消費エネルギー量とCO₂排出量を飛躍的に低減することができると考えています。これら課題解決と共に「脱炭素」を推進していきたいと考えています。



SAGA COLLECTIVE協同組合

SAGA COLLECTIVEは佐賀の地場産業や伝統産業の異業種11社からなる協同組合です。各社に後継予定者が控えており、「事業をわたす人・つくる人の双方が安心して承継できる舞台を整える」ことを使命とし、人・社会・地球にやさしい「エシカル (倫理的な)」を合い言葉に活動しています。

「地球にやさしい」という観点で、環境負荷低減の可視化と削減を2021年度より進めています。2022年度は前年度比15%のCO₂排出量を削減しました。さらに、クレジットの地産地消モデルを実現し、6社が既にカーボンニュートラルを達成しています。この実績を生かし、カーボンニュートラル商品の企画・製造・販売や、コンサルティングサービスを提供しています。



株式会社三井E&S

三井E&Sでは、世界的な脱炭素の潮流を受け、いち早く環境対応型製品の開発に着手しています。具体的には、NO_x、SO_x、GHGの排出を抑制した船用大型ディーゼルエンジンの生産拡大や、将来の排ガスゼロに対応可能なコンテナ用ヤードクレーン「ニア・ゼロ・エミッショントランスターナ」(NZE-TT) と、さらに水素燃料電池駆動の「ゼロ・エミッション・トランスターナ」(ZE-TT) の販売を開始しています。今後も新しい技術を通じて港湾を中心とした脱炭素化に貢献していきます。